

Kokoro no Michi

卯辰山山麓寺院群 心の道



Walking on
the Kokoro no Michi
with Ninja

忍者と歩く「心の道」 忍者人形を探せ!

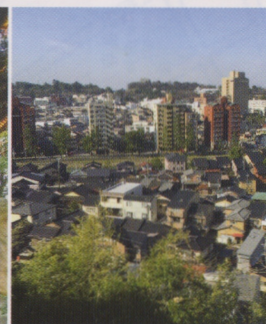


摩利支天山

宝泉寺

Hosenji Temple

真言宗



日本三大摩利支天の寺。前田利家公が「勝負の神様」として戦さの時に鯉(なまず)兜の中に入れて身を守っていた摩利支天が秘蔵されている。宝泉寺は北陸最強のパワースポットがあると言われている。霊峰白山から流れる風が龍となって宝泉寺に集まり、ここから一気に金沢城に流れ出ているという。寺の五本松には天狗が住むという。天狗も金沢城を守っている。天狗と龍の宝泉寺からは、金沢で最も美しい夕日が眺められる。

宇多須神社

Utasu Jinja Shrine



前田利家公を祀る加賀藩の藩社。宇多須神社には10人の神様が御神祭として祀られており、強いパワースポットがあると言われる。境内の奥手には5代藩主の綱紀の病を治したとされる「利常公酒場の井戸」がある。江戸幕府に対する警戒心から加賀百万石の派手さはないが重厚さがある。節分祭にはひがし茶屋街の芸妓たちがここで豆まきをする。3人の忍者を見つけることはできるか?

清澄山

西養寺

Saiyoji Temple

天台宗



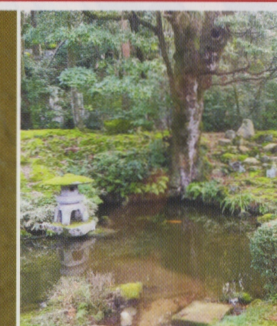
卯辰山麓寺院群の中でも歴史的景観が保たれている寺で、眺望は絶景。江戸時代の雰囲気がある。初代加賀藩主前田利家、2代藩主利長が帰依した。利長の移住に追従して守山、富山、高山と移転し、慶長17年(1612年)に当地に移転した。鐘楼には前田家の梅鉢紋があり泉鏡花の小説に「梅鉢寺」として登場する。西養寺には伝説が多い。白山に通じるとされる井戸、目が動くといわれる釈迦図、ゆうれい釜などがある。ご利益が多い寺である。

金池山

心蓮社

Shinrensha Temple

浄土宗



心蓮社の見どころは庭園である。境内の築山池泉式提案「めでた造り」は、江戸初期の作庭を伝えているとされ、植木などで「鶴と亀」を形どっていたとされている。上下二段式庭園は建物に面した山畔を利用しており、家の中の座敷から観て楽しむ「座観式庭園」と呼ばれる。今もよく保存され江戸時代食の遠州流提案の姿を残している。最近の研究では、庭には排水の工夫がされており、卯辰山麓が大雨になっても水害に被ることはないという。

※一般公開はしていません。

忍者と歩く心の道

「心の道」と名付けられた全長2.6kmの道筋。ひがし茶屋街から卯辰山麓にかけては曲がりくねった小路と知られざる山寺が散在し、藩政時代の街並みと道筋を色濃く残しています。観光地として有名なひがし茶屋街から一歩裏道に入ると細く静かな路地が続きます。

さらに、「忍者」にまつわる歴史や伝説を持つ寺院もあり、宝泉寺、西養寺、心蓮社、宇多須神社の敷地内には手作りの「忍者人形」が配置されています。決まった起点・終点はないので、地図を片手に自分のペースで東

山の町並みに漂う空気に触れてみると新しい発見があるかもしれません。

宇多須神社にある忍者人形。人形はすべて北陸大学の学生たちが手作りしたもの。いろんな場所に隠れています。

